

健康新聞
おおさと
 【発行】
 2019年(第54号)
 医療法人ウエルネス
 TEL 64-3110

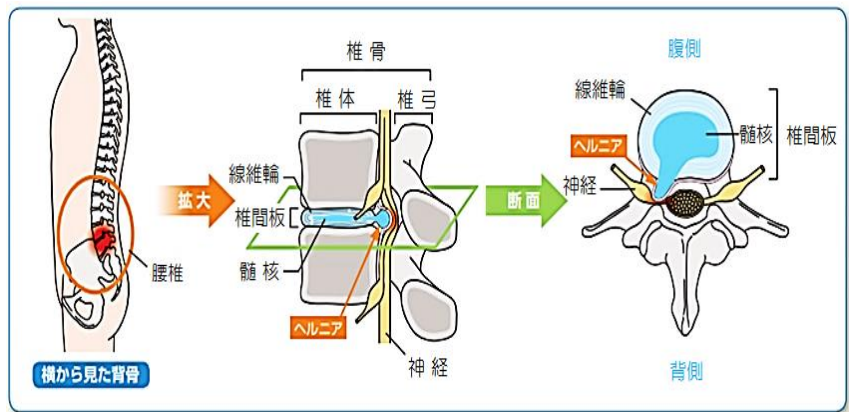
整形外科疾患の最先端治療

院長 大里 裕治

『椎間板ヘルニアの最先端治療』

背骨は椎骨という骨が積み重なってできていて、椎骨の間でクッションの役割を果たしているのが椎間板です。椎間板の中心にはゼリー状の髄核があり、周囲をコラーゲン線維（線維輪）が囲んでいます。腰の椎骨（腰椎）の間にある椎間板は特に、日常生活で負担がかかることも多く、何らかのきっかけで線維輪に亀裂を生じ髄核が飛び出すことがあります。この飛び出した部分をヘルニアと呼び、このヘルニアが近くを通る神経を圧迫して痛みやしびれなどの症状を引き起こすのが、腰椎椎間板ヘルニアです。

腰椎椎間板ヘルニアは自然に縮小したり、大きさは変わらなくても症状がおさまったりするケースも多いため、まずは保存療法で様子をみます。



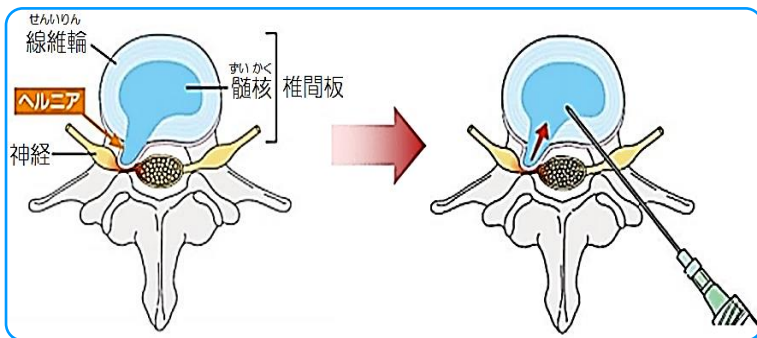
腰椎椎間板ヘルニア

保存療法で効果がみられない場合は、飛び出した髄核を摘出する手術療法を行う他に、最近「ヘルニコア(商品名)」という酵素を椎間板内に直接注射器で注入する治療法が行われるようになりました。以前から椎間板に酵素を注入する治療法がありました。キモパインというパイアから抽出した蛋白分解酵素を使用していました。わが国では健康保険適応外のため普及しないうまま製造中止となりました。昨年からヘルニコアという新しい注射剤が保険適応となり、手術に変わ

る治療法として行われるようになっていきます。

ヘルニコアの有効成分コンドロラーゼは、髄核の保水成分（プロテオグリカン）を分解する酵素です。通常、髄核には保水成分が豊富にあるため、水分を含んで膨らんだ状態にあります。これは、飛び出して神経を圧迫しているヘルニアの髄核でも同じです。

この髄核に適切な量のヘルニコアを注入すると、コンドロラーゼによって髄核内の保水成分が分解され、水分による膨らみが次第にやわらぎます。その結果、神経への圧迫が改善し、痛みやしびれが軽減すると考えられています。



治療時間は30分程度で済み、1泊2日の入院もしくは日帰りも可能です。治療にかかる費用は、1泊入院として3割負担の人は約6万円かかります。ちなみに手術で摘出術を行えば3割負担で約25万円かかります。

※ただし、高額医療の申請をすれば自己負担限度額はもつと少なく済みます

この治療法は、他の保存的加療で効果が無いときにだけ使用できます。神経根症状(一側の下肢症状)の方は投与できませんが、馬尾症状(両下肢のしびれ感、排尿障害)がある方には使用できません。

高度に変性した椎間板、椎体すべりを生じている状態、ヘルニアが複数ある方、骨粗鬆症・リウマチの方、

20歳以下・70歳以上の方、妊娠中・授乳中の方への効果と安全性が確認されていないため注射は困難です。

使用する回数は生涯1回だけとされています。術前の検査結果や年齢により、注射の適応が無い人は手術となることがあります。

佐世保では現在、長崎労災病院の整形外科でのみ行われています。当院に月に1回土曜日(不定期)に代診に来てくれる労災病院の脊椎専門医の馬場先生がこの治療法の責任者なので、保存的に治療していても腰椎椎間板ヘルニアによる痛みやしびれが良くなる方ない方は、自分が適応かどうか一度ご相談ください。



労災病院脊椎専門医 馬場 秀夫 先生

変形性膝関節症の最先端治療

膝の関節軟骨の再生治療として注目されているのが、PRP療法やAPSS療法と呼ばれる治療法です。再生医療というと、多くの方はIPS細胞やES細胞を思い浮かべると思いますが、これらは幹細胞と言って、細胞の中でも赤ちゃんのようなもの。これから骨にも、筋肉にも、血管にもなれるおおもとの細胞です。この細胞に遺伝子操作をし、『骨になれ』とか『血管になれ』といった刺激を加え、計画通りの組織に分化させ移植する治療が、主にマスコミなどに取り上げられる再生医療です。しかし、現在の膝の再生医療は、そこまですれレベルではありません。

現在行われている変形性膝関節症の再生医療には、自身の血液から採取した血小板に含まれる炎症サイトカイン・修復成長因子を関

節に注射する「PRP療法(多血小板血漿療法)」、PRPをさらに生成して純度を高めて膝に注射する「APSS療法」が主流となっています。PRP療法はダメージを負った組織を修復する力において優れているので、膝以外の筋肉や靭帯組織の治療にも用いられます。大リーグ・ヤンキースの田中将大選手やエンゼルスの大谷翔平選手が肘の靭帯を損傷した際に施術を受けて話題となりました。

このPRP療法の「次世代型」と呼ばれるAPSS療法は、PRPより修復因子が濃縮・活性化されているので、炎症や痛みを抑える作用が増強されています。そして適応が膝関節の軟骨の修復だけに特化されています。何度も行おうことの多いPRPに対してAPSSは効果も約2年間持続するという報告や、PRPより軟骨保護作用が強いという報告もみられます。

国から認可を受けた施設でしか治療できない治療法で、長崎では佐世保中央病院の整形外科でのみ行っています。ただし、健康保険の適応外のため自由診療での提供となっています。そのため診察代・薬代・手術料全てが自費払いになるため総額30万円超になると言われていて、残念ながらもまだ簡単に受けられる治療法ではない状況のようです。いずれ我々開業医でも容易に健康保険を使つてこのような再生医療が行えるようになれば、高齢者の健康寿命は大幅に延びるようになることでしょう。

診療の際、このようなことにご注意ください！

院長 大里 裕治

① 同じ病名で、他の病院と当院との2か所で湿布をもらうことは出来ません。

ウチでもらう湿布の枚数が足りないからと他院で処方を受ける方がいらっしゃいます。しかし一人の人にさせる枚数は、貼る部位や湿布の種類によって上限が決められています。今はコンピューターで処理されるので、他の病院で処方された湿布の枚数の合計まで分かり、どちらかの病院に損害を与えることになり迷惑をかけます。ご注意ください。

② 同じ病名で、他院で物療や整骨院で施術を受けることは出来ません。

遠方で通院が難しい、忙しくて治療時間に間に合わない、などの理由で同じ疾患に対し複数の医院で治療を受けることは出来ません。また整骨院でも保険証を使って施術する場合は同様に、同じ疾患に対してはできませんのでご注意ください。

③ 発行された処方箋には有効期間があります。

例えば9月1日に診察を受け、薬を処方されたとします。その有効期間は4日間なので、9月4日までに薬局に処方箋を持って行かなければ無効になります。それを過ぎるとまた改めて病院に行って診察を受け、処方箋を出してもらうことになります。

④ お薬の重複処方にならないよう、お薬手帳の提出をお願いします。

例えば、整形外科ではどうしても消炎鎮痛剤(いわゆる炎症・痛み止め)を処方することが多いのですが、その際副作用で最も多い胃痛・胸やけを防ぐため胃粘膜を保護する胃薬を処方することがあります。その薬は内科でもよく処方される事があるため、2か所から同じ作用の胃薬を貰うことになります。それを防ぐためにも、また一緒に飲ませられない薬などを把握するためにも、月に1度はお薬手帳を必ずお見せ下さい。

新人紹介

松尾 千香 (看護師)



4月に入社しましたがまだまだ不慣れで先輩方や患者様にご迷惑をおかけしています。皆様のご指導を頂き、早く仕事にも慣れて、笑顔で頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

高橋 剛 (理学療法士)



4月から入職いたしました。先輩方の温かいサポートもあり、日々感謝しながら楽しく仕事することができております。患者様の生活機能が向上できるように、日々自己研鑽し専門性を高めて行きたいと思っています。

吉村 百合子 (通所リハ介護助手)



8月からお世話になっております。吉村 百合子と申します。佐世保出身で、今は平戸から通って

います。ドライブとフラダンスをたまにやっています。早く慣れるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

大山 加津美 (通所リハ介護助手)



9月から通所でパートとして働くことになりました。大山加津美です。介護職は未経験でたくさんご迷惑をおかけしてしまいかも知れませんが、笑顔を忘れずがんばります。どうぞよろしくお願いします。

前田 イツ子 (通所リハ介護助手)



9月24日に介護員として入社した前田イツ子です。介護員として約3年経験しておりました。利用者様に早く覚えてもらい信頼して頂ける様に頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

新しく職員が加わりました。ご指導宜しくお願い致します。

第2駐車場のお知らせ

おおさと第2駐車場に10台ほどの駐車スペースを確保いたしました。少し遠くなりますが不法駐車や車道渋滞、並びにデイリーストアの駐車場無断利用などの迷惑行為を防ぐためにも当院敷地内の駐車場がいっぱいの場合、第2駐車場をご利用頂く様よろしくお願いいたします。なお駐車の際は、手前の白線スペースにお停めください。

